

山形県優秀建設現場従事者顕彰候補者選考規程

(目的)

第1 山形県優秀建設現場従事者顕彰選考会設置要領（以下「要領」という。）第2条の規定に基づく選考を行うため、選考規程を定める。

(選考順位の設定及び報告)

第2 選考会は、推薦団体からの推薦書及び添付資料に基づき別紙「候補者選定配点基準」に照らして配点のうえ、配点合計値の高い候補者から順位の設定を行い、要領第5条に基づく報告とする。

付 則

- 1 この規程は、平成26年9月25日から施行する。
- 2 この規程は、平成29年4月 1日から施行する。
- 3 この規程は、令和4年10月 4日から施行する。

候補者選定配点基準

1. 基本事項

現場従事年数（選考基準 20 年以上）

3 5 年以上	6 点
2 5 年以上 3 5 年未満	5 点
2 5 年未満	4 点

2. 技能・資格

（1）次のいずれかに該当したときに当該項目の点数を付す。なお、複数該当する場合は、1 番点数の高い項目のみ適用する。

- ① 登録基幹技能者 5 点
- ② 技能検定の取得 (1 級) 4 点
(2 級) 2 点

※ 技能検定は、建設業法施行規則第 7 条の 3 第 2 項に規定する職業能力開発促進法に基づく技能検定（国土交通省が定めた主任技術者となりうる資格）を取得した者を対象とする。

- ③ 技能資格の取得 1 点

※ 技能資格は安全衛生法に基づく技能講習のうち建設工事に必要な技能講習とし、資格の取得は同法第 6 1 条第 3 項に規定する資格を証する書面に該当する「技能講習修了証明書」の発行を受けた者を対象とする。

- ④ 国家資格の取得 (監理技術者) 6 点
(1 級) 5 点
(2 級) 2 点

※ 国家資格は、建設業法施行規則第 7 条の 3 第 2 項に規定する技術検定（国土交通省が定めた監理技術者又は主任技術者となりうる資格）を取得した者を対象とする。監理技術者にあつては 1 級技術者の資格を有する者に限る。

（2）技能五輪、技能競技大会における出場経験がある場合。 加点 2 点

3. 技術開発、施工の合理化かつ建設工事における相当の実績

（1）技術開発、施工の合理化を図り顕著な成績を挙げており、次のいずれかに該当したとき。

- ① 建設機械や設備等の発明や改良の実績があるとき。 5 点
- ② 新工法・改良工法の現場への導入提案の実績があるとき。 4 点
- ③ 工期短縮、工程ロス削減等の工程管理の改善実績があるとき。 4 点
- ④ 施工手順や施工方法の提案による創意工夫の実績があるとき。 3 点
- ⑤ 工具の改良等作業上の創意工夫の実績があるとき。 3 点
- ⑥ その他、技術開発・施工合理化と認められるものがあるとき。 3 点

（2）建設工事に相当な実績があり、次のいずれかに該当したとき。

- ⑦ 県発注工事を元請もしくは下請で従事した実績があるとき。 8 点
- ⑧ 国宝や重要文化財に指定された物件の工事に従事した実績があるとき。 8 点
- ⑨ 国・市町村発注工事を元請もしくは下請で従事した実績があるとき。 7 点
- ⑩ 上記⑦・⑨以外の公共性の高い工事に従事した実績があるとき。 6 点
(百貨店、旅館、アパート、神社、寺院など)

※複数の項目に該当する場合でも加点はしない。

4. 後進の指導

(1) 指導・育成の内容

次のいずれかに該当したとき。 4点

- ① OJT（職場内訓練）を積極的に実施しているとき。
- ② 後進の資格取得支援・指導に取り組んでいるとき。
- ③ 職業訓練指導員としての従事した実績があるとき。
- ④ 技能検定（補佐）員として従事した実績があるとき。
- ⑤ 産業高校の非常勤講師として従事した実績があるとき。

※①～⑤について実績を示す書類の添付が必要。（辞令書、身分証明書、開催案内、講義資料、状況写真など）書類がない場合は上司からの証明書を添付する。

※①については、1名以上かつ1ヶ月以上のOJT（職場内訓練）の実績を対象とする。

※②については、年間1名以上に対し、2回以上の講習会等を開催した実績を対象とする。

※複数の項目に該当する場合でも加点はしない。

(2) 指導・育成の期間

20年以上 6点

10年以上20年未満 4点

10年未満 2点

※指導・育成期間とは、上記（1）の通算年数とする。ただし、期間が重複しているものにあつては二重に計上しない。

5. 安全・衛生向上への貢献

(1) 無事故期間（選考基準3年以上）

25年以上 8点

15年以上25年未満 6点

15年未満 4点

(2) 安全衛生管理に関する資格等

安全衛生管理に関する資格や表彰等があるとき。 2点

〔例〕・安全優良職長顕彰（厚生労働省）

- ・職長教育修了証
- ・安全衛生管理者・推進者等講習修了証
- ・労働基準協会等からの表彰（個人名）

※複数の表彰がある場合でも重複加点はしない。

6. 他の模範

(1) 建産連会長表彰の表彰歴があるとき。 2点

(2) 上記（1）以外の表彰歴があるとき。 1点

（ボランティアや地域貢献などに関する表彰歴。建設産業及び安全衛生管理に関する表彰を除く。）

〔例〕・商工会議所会頭表彰

- ・警察署長表彰
- ・消防協会表彰
- ・交通安全協会表彰

※複数の表彰がある場合でも重複加点はしない。

※安全優良職長顕彰（厚生労働省）を除く。

7. 選考の対象

上記1～6の配点の合計が30点以上の候補者を選考の対象とする。

※満点配点（50点）×6割＝30点